

# 広東省・広州市・深圳市週報

11月1日～11月6日

## I. 広東省

### 1. 全省宗教工作会議の開催

●10月31日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の重要講話の精神を深く学び、習近平同志を核心とする党中央の周囲で緊密に団結し、広東省の宗教工作の新たな局面を切り開いていくよう努力しなければならないと強調。朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委員会主任、王栄・省政協副主席が会議に出席。林雄・省統一戦線部長が今後の一時期における宗教工作を具体的に手配（11月1日付『南方日報』）。

### 2. 朱小丹省長がCHSプロジェクト投資側代表と懇談

●10月31日午前、朱小丹省長がCHS（ハイブリッドカー）プロジェクト投資側代表（浙江・吉利汽車、仏山・科力遠、重慶長安汽車等）と懇談（11月1日付『南方日報』）。

※総投資額は100億元を超えるプロジェクト。広東省はこのプロジェクトを国家重点プロジェクトとして申請し、エコカー製造企業とサプライヤー間の更なるシステム化を進め、珠江西岸先進製造産業ベルト建設を推進し、広東省の製造業をミドル、ハイエンドへと引き上げていく。

### 3. 省人代、省政協による党組織拡大会議の開催

●10月31日午後、黄龍雲・省人代常務委員会主任主宰の省人代常務委員会党組織拡大会議、王栄・省政協主席主宰の省政協党組織拡大会議が開催され、各会議で第18期六中全会の精神を伝達・学習（11月1日付『南方日報』）。

### 4. 第11回中国国際航空・宇宙博覧会が開幕

●1日午前、珠海市で上記博覧会が開幕し、範長龍・中央軍事委員会副主席、胡春華・省党書記、李長春・元中央政治局常務委員、王勇・國務委員等が開幕式に出席。朱小丹・省長、張建平・空軍副司令官が挨拶（11月1日付『南方日報』）。

### 5. 魏亮・南部戦区政治委員がミン・アウン・フライン・ミャンマー国防軍総司令官と会談

●2日、上記会談で魏亮・南部戦区政治委員は次のように強調した。中華民族は平和を愛する民族であり、中国政府は終始弛むことなく独立自主の平和外交政策と防御的な国防政策を執っており、中国軍は国際的にも地域的にも安全保障協力の提唱者、推進者、参加者になりたいと望んでおり、ミャンマーにとって最も理想的かつ最も頼りになる協力パートナーになりたいと望んでいる。中国・ミャンマー両軍が長年にわたって結んできた友情を非常に大切にしており、ミャンマー国防軍との友情を強固なものとし、交流を深め、協力を促進し、相互信頼、平等、協力による安全な環境を共に築き、新たな時期の中国・ミャンマー関係に新たな原動力を注入し、世界平和と地域の安全保障を発展させるために、しかるべき貢献をしていきたいと心から望んでいる（11月4日付『南方日報』）。

### 6. 王教成・南部戦区司令官がカンボジア副首相兼国防大臣と会談

●3日、王教成・南部戦区司令官は広州市で、珠海市で開催されている第11回中国国際航空・宇宙博覧会へ来訪したカンボジア副首相兼国防大臣と会談。王司令官は次のように指摘した。近年、中国・カンボジア両国の全面的な戦略的協力パートナーシップは深く発展しており、両国民に実質的な利益をもたらしている。互いの核心的利益と重要かつ強く関心を寄せている問題において、双方はより一層終始相互に理解し合い、揺るぎなく支持している。中国とカンボジアはすでに肝胆相照らした良き友、兄弟のように仲の良い隣人となっている。両国の友情は、国と国が友好に接し、心から協力する手本である。南部戦区はカンボジアとの距離が最も近い戦区であり、我々は南部戦区の積極的な役割を果たし、両軍の実務協力を深め、その友好関係を向上させるために、積極的に貢献していきたい（11月5日付『南方日報』）。

### 7. 省党常務委員会会議の開催

●4日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、全国社会治安総合ガバナンス刷新業務会議の内容及び同会議にあてての習近平・総書記による重要指示の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討。併せて、「党指導による立法の強化に関する広東省党委員会の実施意見」について審議し基本的には採択（11月5日付『南方日報』）。

## 8. 中国広核集団による海上小型原発の建設がスタート

●4日午後、中国広核集団（CGN）が深圳市で記者会見を行い、同日午前、CGNと東方電気株式有限公司が「“CGNのACPR50S実験炉（原子炉）プロジェクト”圧力容器調達協定」に署名したと発表。これは広く注目を集めているCGNの海上小型原発ACPR50Sの建設が正式にスタートし、中国初の海上原発の建設が始まったことを意味する（11月5日付『南方日報』）。

## **II. 広州市**

### 1. 市政府常務会議の開催

●10月31日午後、温国輝・市長の委託を受けた欧陽衛民・常務副市長が主宰の市政府常務会議が開催され、「先進製造業の発展・配置に関する市第13次5か年計画」等について審議し採択（11月1日付『広州日報』）。

### 2. 市人代常務委員会党組織拡大会議の開催

●10月31日午前、陳建華・市人代常務委員会主任主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を伝達・学習（11月1日付『広州日報』）。

### 3. 任学鋒・市党書記が李剛・國務院華僑事務弁公室副主任一行と会談

●1日、任学鋒・市党書記が暨南大学の発展状況を視察に訪れた李剛・國務院華僑事務弁公室副主任（前マカオ中連弁主任）一行と会談（11月1日付『広州日報』）。

### 4. 市党常務委員会会議の開催

●3日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、中央の紅軍長征勝利80周年記念大会、省座談会、全国社会治安総合ガバナンス刷新業務会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務を手配（11月4日付『広州日報』）。

## **III. 深圳市**

### 1. 市政府党組織拡大会議、市政府常務会議の開催

●10月31日午前、許勤・市長主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を伝達・学習（11月1日付『深圳特区報』）。

### 2. 工業・インターネット国際フォーラムが開幕

●10月31日午前、中国航空・宇宙科学工業集団と中国・ロシア友好・平和・発展委員会科学・イノベーション理事会共催の上記フォーラムが開幕し、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、高紅衛・中国航空・宇宙科学工業集団董事長、ロシア技術発展協会主席等が開幕式に出席（11月1日付『深圳特区報』）。

### 3. 全省都市少数民族工作現場会議の開催

●1日、何忠友・副省長主宰の上記会議が開催され、中央民族工作、全国都市民族工作等の会議の精神を深く貫徹・実行に移した。経験を総括・共有し、対策について検討し、広東省の都市民族工作の刷新・発展を更に推進。馬興瑞・市党書記、林雄・省統一戦線部長が出席し講話を行なった（11月2日付『深圳特区報』）。

### 4. 連維良・国家発展改革委員会副主任一行が深圳市を視察

●3日、連維良・国家発展改革委員会副主任一行が深圳企業等を視察に訪れ、艾学峰・副市長が視察に同行。一行はBYD株式有限公司、深圳鵬元征信（クレジットサービス）有限公司、深圳証券取引所を視察（11月4日付『深圳特区報』）。

### 5. 馬興瑞・市党書記が6大重点工業プロジェクトの起工式に出席

●3日午前、深圳市2016年重点工業プロジェクト（第1期）起工式が開催され、馬興瑞・市党書記が出席（11月4日付『深圳特区報』）。

※6大プロジェクト：中芯国際12インチチップ生産ライン、柔宇国際フレキシブル・ディスプレイ拠点、坪山エコカー部品生産拠点、華訊方舟中国天谷（宇宙通信技術産業パーク）、DJIイノベーション本部拠点、日東光学偏光板プレ処理。